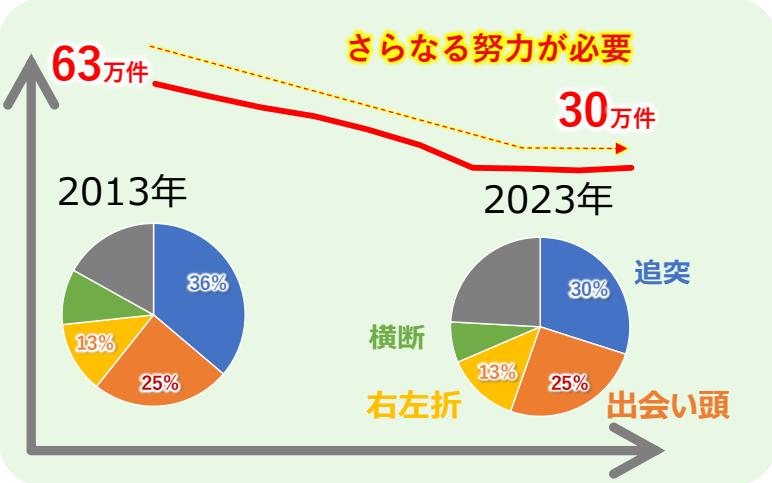


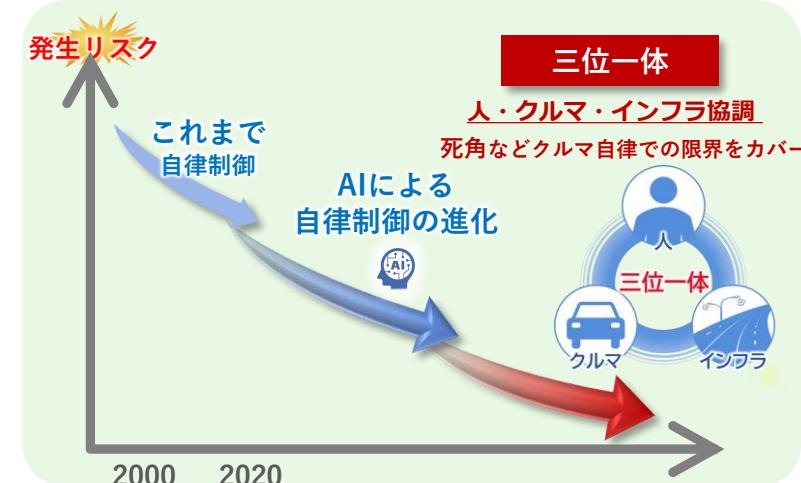
自動車業界における情報通信成長戦略への期待

2026.2.20
トヨタ自動車株式会社

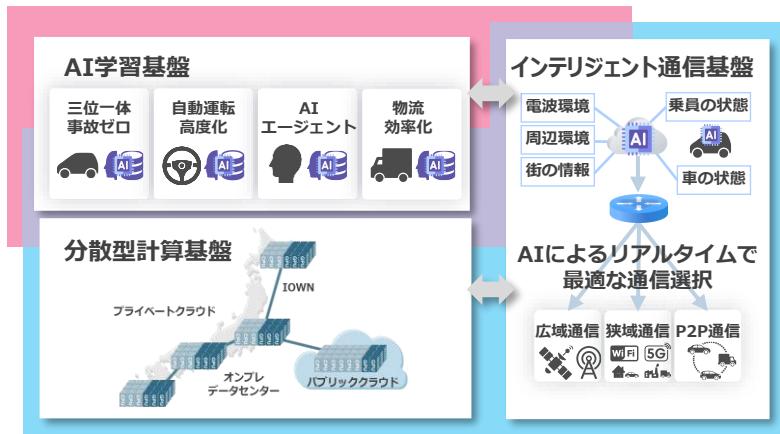
<交通事故発生状況>



<事故ゼロに向けたアプローチ>



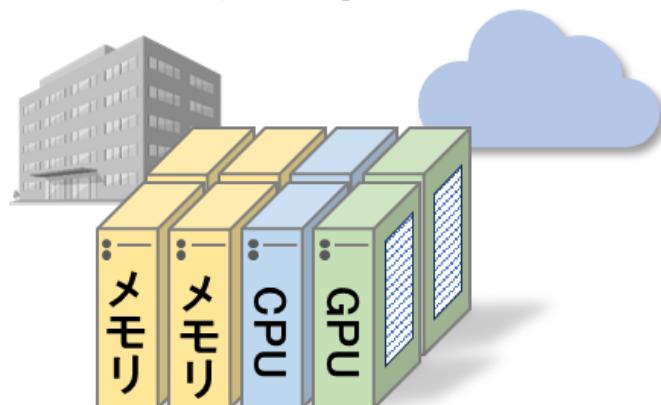
三位一体型のインフラ協調 「人・クルマ・インフラ協調」と「切れ目ない通信」で実現



モビリティAI基盤

計算・通信資源の計画的な増強と効率的な運用が必要

コネクティッドカー



計算能力
150倍



総通信量
22倍

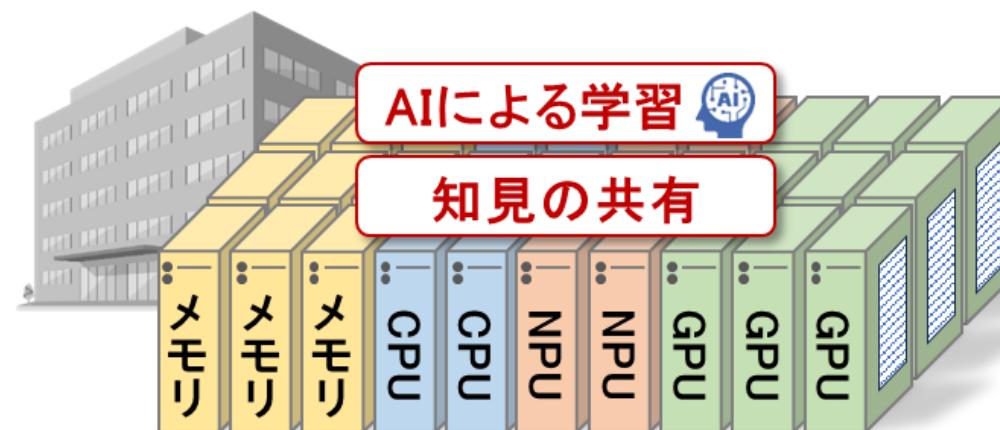


コネクティッドカー台数
3倍



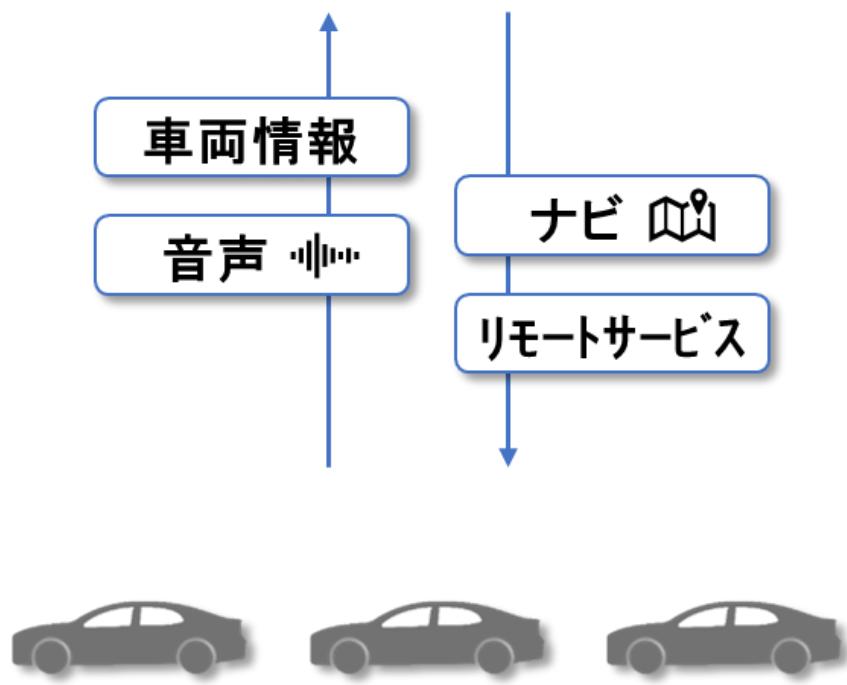
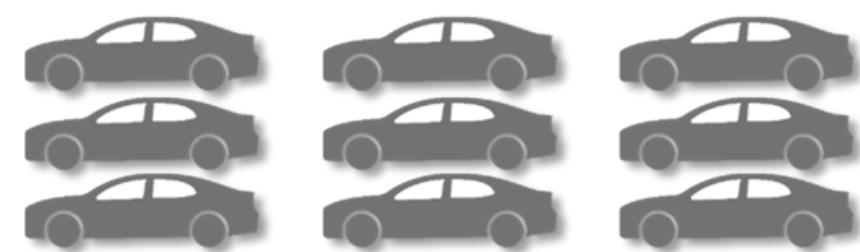
自動運転

三位一体型のインフラ協調



- 映像/画像 (Video/Image)
- ドライバー情報 (Driver Information)
- 車両情報 (Vehicle Information)
- 音声 (Voice)

- ナビ (Navigation)
- リモートサービス (Remote Service)
- 遠隔制御 (Remote Control)
- 周辺映像 (Surrounding Video)
- ソフトウェア (Software)



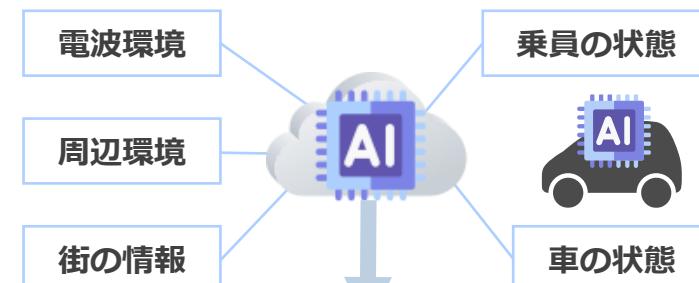
AIと通信で未来のモビリティ社会を作っていく

AI学習基盤

AI基盤は領域ごとに構築

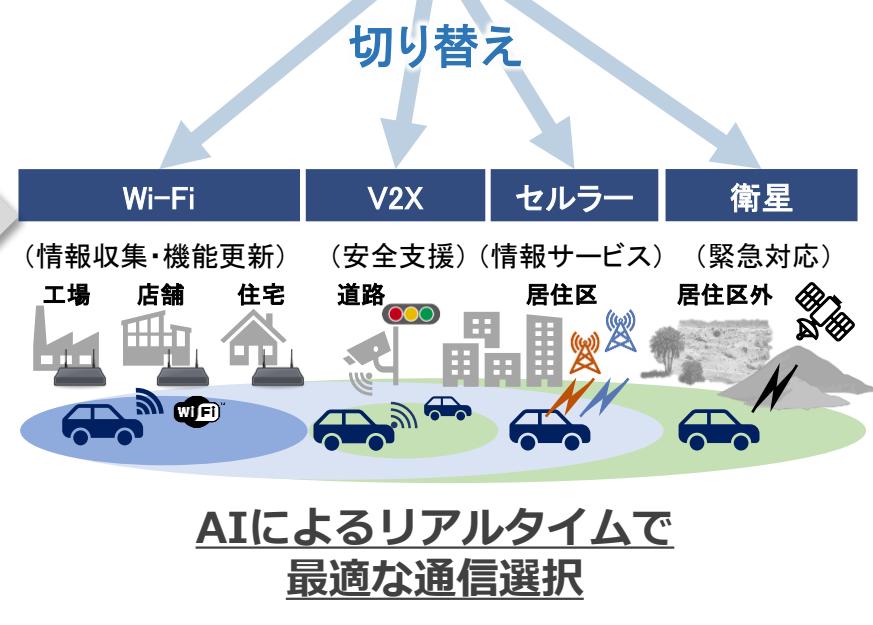
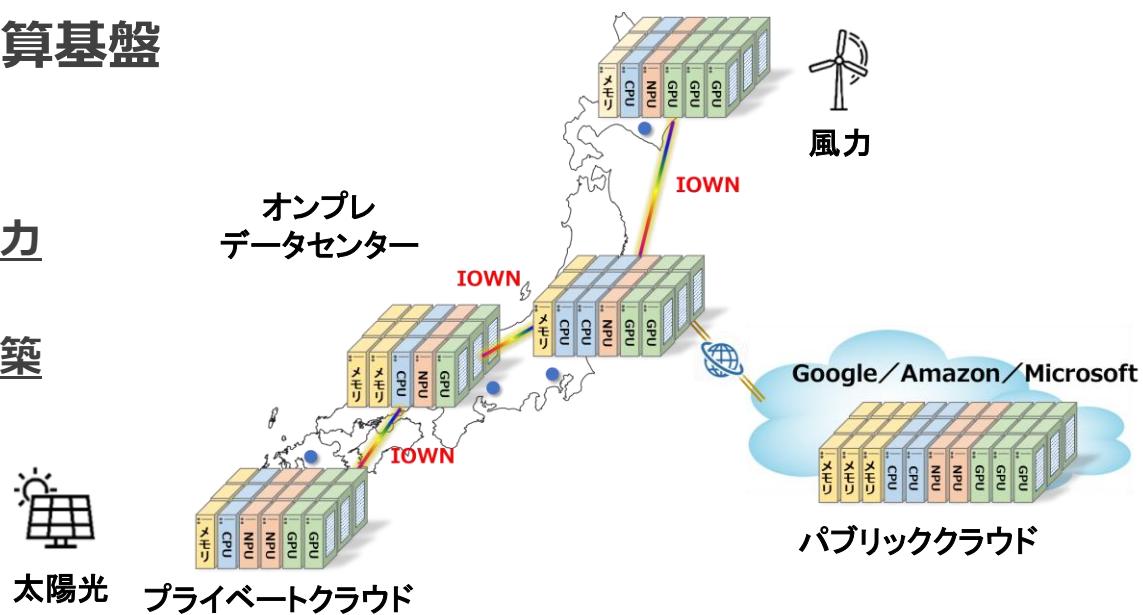


インテリジェント通信基盤



分散型計算基盤

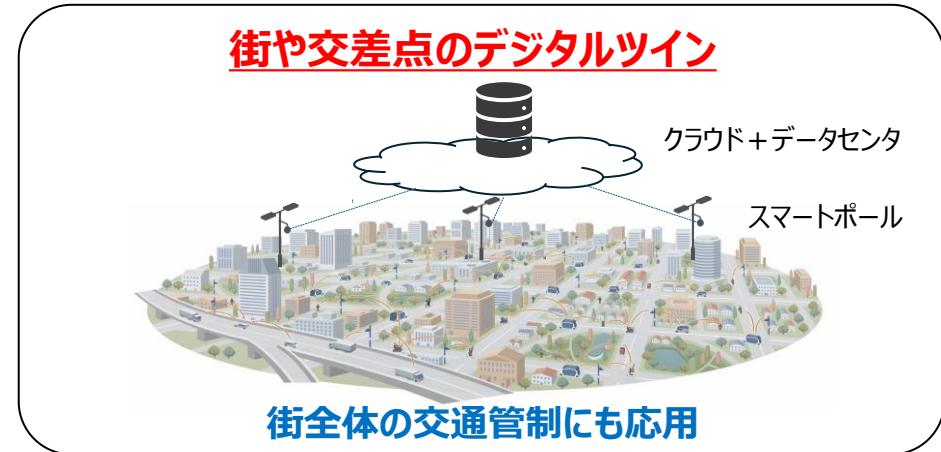
グリーン電力
地産地消の
計算基盤構築



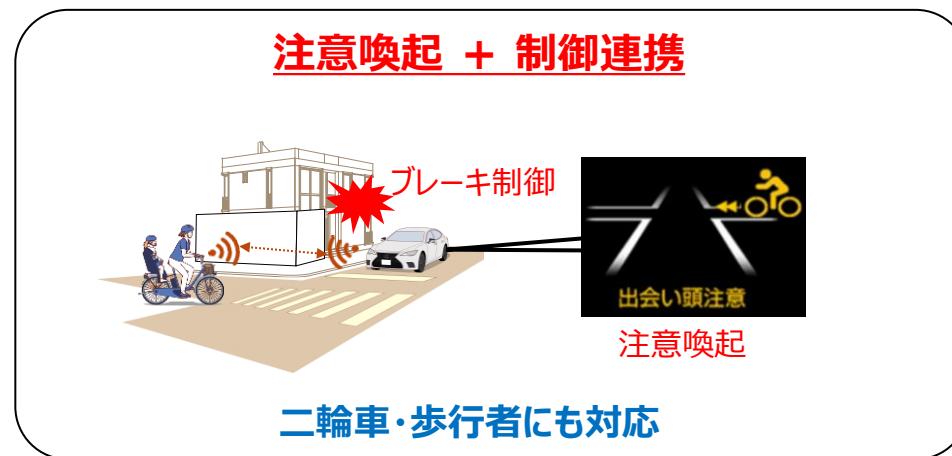
高度化
多様化



2035年以降



2030年前半：数千カ所

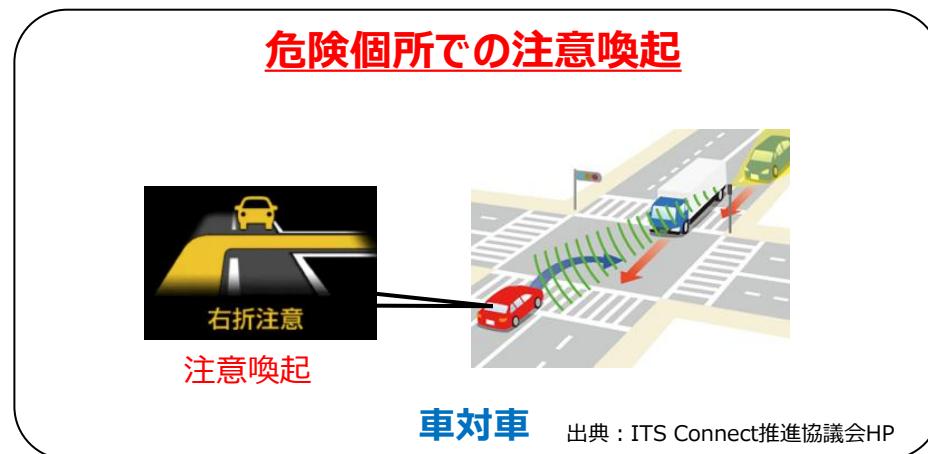


情報連携

2030年～

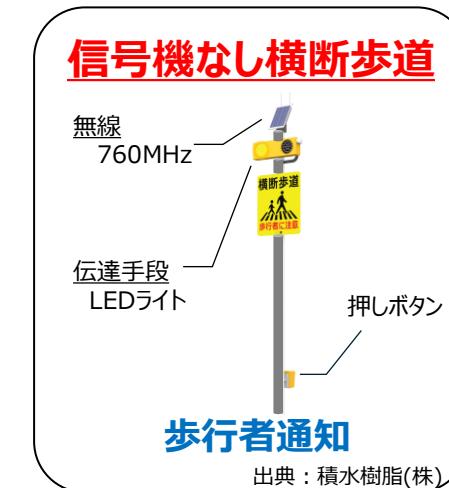


2027～28年：数百カ所



高機能化

2026～29年



早期に全国展開

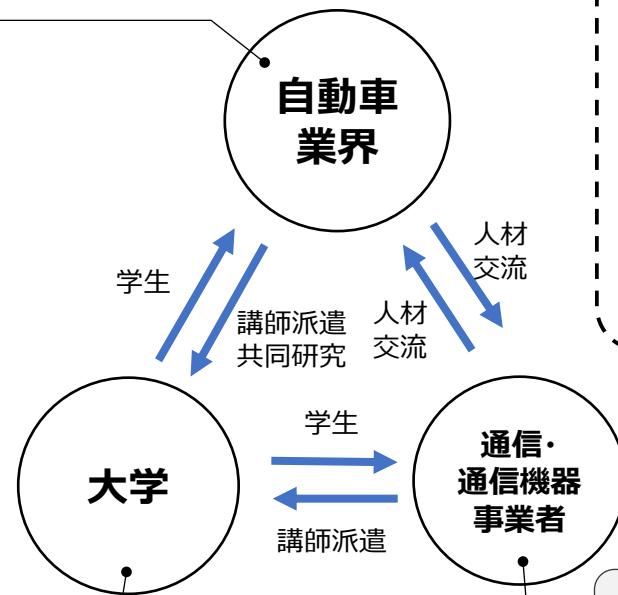
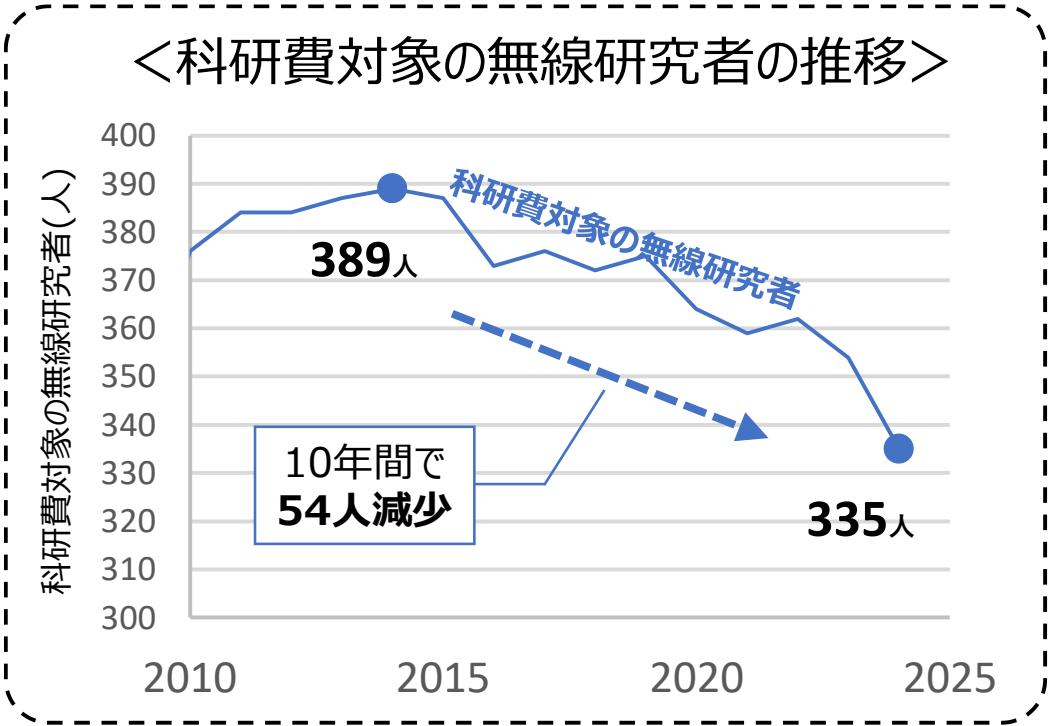
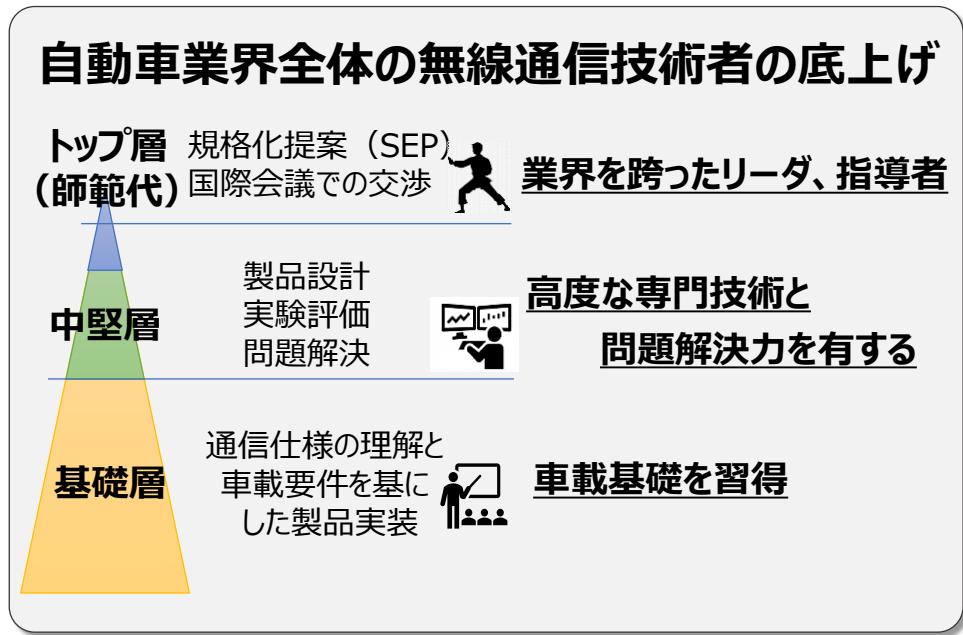
スマートポール実証実験

実証毎に仕様不統一

標準化

展開

産学が連携した育成カリキュラムを構築、自動車に精通した無線通信、高周波・アンテナのプロ人材を育成



- ### 無線通信関連の研究機関の強化
- 無線通信関連の研究機関の設置
 - 計画的な研究者・指導者の育成
 - 産業界への継続的な卒業生の輩出
 - 自動車業界と連携した車載通信技術に関する冠講座・契約学科の設置
 - 社会人を対象にリスキリングを教育カリキュラムの構築

- ### 自動車業界と連携した標準化推進
- 車載通信機の国産化
 - 次世代車載通信規格化と国内におけるSEP創出人材を育成
 - 総務省、電波産業会と連携し3GPP、IEEE、GSMAなどの標準化団体への提言
 - 自動車業界⇔通信業界間など業界を跨った人材交流

- ### 産-学-官が連携した活動へ発展
- 海外の大学、研究機関との交流と留学支援制度の充実
 - 大学・高専の学科、研究室の増強と計画的な指導者育成

TOYOTA